

## 審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	第3回益田市特別職報酬等審議会
開催日時	平成27年9月25日(金)13時30分～15時5分
開催場所	益田市役所第2会議室
出席者	<p>○出席者</p> <p>【審議会委員】</p> <p>齋藤眸会長/島田憲郷会長代理/赤木利光委員/佐々木孝子委員/ 澄出久美子委員/田中 勉委員/寺戸秀美委員/橋本正嗣委員/ 深山明日香委員/藤井幸子委員/光永榮子委員/山崎一美委員</p> <p>【事務局】</p> <p>橋本百合香議会事務局次長 藤井寿朗人事課長/長嶺勝良人事課長補佐/小田川拓史人事課主査</p> <p>○欠席者</p> <p>高橋正教委員/西坂晴美委員</p>
議題	議会議員等の報酬額並びに政務活動費の額について
公開・非公開の別	原則公開
非公開の理由	
傍聴人の数	無
問合せ先	総務部 人事課 電話:0856-31-0321
審議経過	<p>1 開会</p> <p>(事務局) 定刻になりましたので始めさせていただきます。前回、資料を求められていた件について、事前にお送りさせていただいているものと、本日、配付させていただいたものがございます。後ほど説明をさせていただきますが、まずは会長さんからご挨拶いただきます。</p> <p>(会長) 皆さんには大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。今までの2回の審議で活発な議論をいただいているところですが、本日は今まで論議した内容等について、再度確認をいただきますと同時に前回の議事録の確認をしていただけたらと思います。活発な議論をお願いいたします。</p> <p>それでは前回の議事録の内容について確認いただき、特に問題がなければ、速やかに公開をしていきたいと思いますが、内容についてはよろしいでしょうか。</p> <p>(委員) 結構です。</p>

## 2 審議

(会 長) それではこのことについて、速やかに公開をお願いします。続きまして、新たな資料等の提出もごございますので、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局) 【資料 3】益田市の財政状況「平成 21 年度～26 年度決算」説明

(会 長) ただいま、26 年度の決算の状況について説明いただきました。続いて、議会事務局から説明を貰います。

(事務局) 【資料 1】議会の活動状況 説明

【資料 2】平成 26 年度政務活動費支出一覧 説明

(会 長) 議員の方々の活動について、初めて聞かれた方はなかなか分かりにくいかもしれませんが、分からないことがございましたら聞いていただければと思います。

(委 員) 議員の皆さんの研修内容や視察先というものは、どのような経緯でピックアップして決められているのでしょうか。この資料の内容をじっくり見させていただいたんですが、何か常に物事の後ろ後ろを走っているんじゃないかと思うんです。既に実施しているのに行くなんて、遅いんじゃないかと思います。一方で、中世の街づくりについても、2 月に歴史博などが山口市であったんですが、商工会議所の方で企画しても、議員の皆さんは誰も来られていない、ということもありました。これらの行き先はどういう経緯で決めていらっしゃるのかでしょうか。これ以外にも独自で行かれているのか、ということも知りたいところです。

(事務局) 複数名の方が同じところに行っておられるんですが、議会には「会派」というものがあります。同じ政策理念をもつ何人かでグループを作っておられます。その会派で行かれています。会派の中で、行き先の取組みが益田市の事業に合うものなのかどうか、そういう視点から選んでいますし、益田市の事業の中に活かしていけることなのかどうか、という問題点も含めて検討して選んでいます。バイオマスに関わる視察についても、匹見で事業を行ってしまして、それらと繋がられるのかどうか、などが検討されたうえで選定されています。確かに他の市でやっているから、ということもあるんですが、それが益田市にとってどうなのか、という視点は検討されています。

さらに 10 万円を超えた部分の活動についても、独自で行かれています。そうしたことが、特別委員会の中で、政務活動費の 10 万円以上の活動をしていることの報告や、そのことを踏まえて「活動費を 2 万円程度増額できないのか」という意見が出ています。ただし 10 万円を超えて支出していることの状況については、報告はありませんので内容までは分かりませんが、議員の皆さんの中には 50 万、60 万かけて調査・研究されている方もおられます。

(委 員) 政務活動費については、8 市の状況がどうなっているか資料が提出されていますが、支出の仕方などについては、他市の場合では会派に対して支出されているところもあるようです。一方で個人に対して払われているところもある。

支出方法はいろいろあっても、議員にはそれぞれ考え方があって、その考えが益田市の様々な施策にどんな影響を及ぼすのか、自分で学び、質問し、その正当性や確実性について見つめ直し、事業を推進するにあたっての市民の目線としてどうなのか、を考えておられる、ということではないかと思います。

(委 員) 調査研究費と研修費について、個人差があるとは思いますが、多い方でどのくらいの回数行かれて、どのくらいの報告があるのでしょうか。

(事務局) 調査研究費の中でも 1 回の方もおられれば、2 回の方もおられます。

(委員) 政務活動費の具体的な報告をお持ちですか。ホームページに出ているんですが、もし良ければ回覧して見せていただけますか。細かいところは、いろいろな考え方があるでしょうし、その時その時の考え方や判断もあるでしょう。問題は議員さん方がどういう考えで活動しているのか、そういうところだと思います。

(委員) たくさん視察しても、それが益田市の事業にどう落としこまれているのか、ということもあるでしょう。政務活動費をたくさん出せば、上手くいくのかということもある。いろいろな団体が企画している視察などに参加すれば勉強できることもある。いろいろな事業をされている方々と一緒に進めていけないといけないでしょう。最後にかかわれている「所感」なんかも、「必要性を感じた」とかあるんですが、誰だって必要性は感じますよ。そうではなくて、「それでどうするのか」と言うところなんです。

(委員) おっしゃるとおりでしょうが、施策については、試行錯誤もあります。例えば、後になってから、これはしなくていいことだとか、出来ないことだとか分かることもある。議員の視察や研修の内容をここで精査することはすべきではないでしょう。それよりも、「もっとがんばって欲しい」ということに結び付けていくべきなんでしょう。我々の活動自体もそうですが、実を結ばないこともある。初めからこれは必要ないとか、これはいることだ、というものでもない。

(委員) あまり爪楊枝でどうこうするのはしたくないけども感想です。

(委員) 政治活動費以外にも、委員会活動費があったと思うんですが、それはいくらでしたか。

(事務局) 常任委員会に対して今もあります。金額は 11 万円です。

(委員) 議員個人でやる活動費と、委員会で活動する場合の旅費があるということですね。常任委員会のみで特別委員会などにはないんですか。

(事務局) 常任委員会のみです。今、政務活動費は議員個人に 10 万円です。11 万円というのは、常任委員会として視察に行かれた場合などの旅費として支出します。余れば当然不要額となるものです。

(委員) 交通費として 11 万円があって、個人の活動に対して 10 万円がある。性格は違うものだが、1 人に対して 21 万円ついているということですね。

(委員) 11 万円というのは何人かのグループに対してついているんですか。

(事務局) 委員会に対して措置されています。委員会に所属する議員 1 人に 11 万円です。飛行機利用などを念頭に、出張の旅費として積算根拠をみています。

(委員) 常任委員会として、全員で行くということですね。

(委員) いろいろと勉強してきたところですが、「比率」という視点で考えたとき、財政規模の大きいところは、その中に占める 3 役の給料や議員の報酬の比率は低くなるし、財政規模の小さいところは、その比率は高くなる。この「比率」で考えるのか、3 役や議員個人を比較して考えるのか。財政状況が悪いと言われるが、その中にあって、議員や 3 役の低い報酬額が、どれだけ財政状況に貢献をしているのか。300 億円近い財政の中で支出を抑える方法は、そんなことではなく他にあるはずですよ。やはり益田市の議員の報酬については、十分な額ではないんじゃないかと思います。それと今回の政務活動費については、どのような経過で全員が賛成して議会からの要望が出されたのか分かりませんが、「報酬」というものは良しとしたとしても、議員として活動をしていく活動費は、多くの方が支給される金額以上を使っている。それは明確に分かっているわけですから、これは

考えていくべきだと思います。

(委員) その視点は必要ですし、一方でも県内他市の状況も見なくてはいけない。それを見ると「低い」という状況はわかる。政務活動費も支出方法の違いはあるけども、高い位置にあるものではない。

(委員) 政務活動費を使って視察などに行き帰ってきて、それが益田にとってどうなっているのか。ただ行って来た、というようなことではダメだ。その結果をどう活かしているのか、ということです。それが見えてこないんですね。お土産代がどうか「そんなのどうでもいい」とまでは言わないけども、要は結果ですよ。

(事務局) 議員の皆さんで勉強されて、行った先の資料を持ってこられて、各担当課や各課長に資料なども提供いただき、また議会での一般質問という形で議論もいただいています。私たち執行部も指摘を受けたりして、勉強させていただいているところもあります。

(委員) 我々も議員任せでなく、勉強しないといけないこともあるんでしょう。

(事務局) それぞれの委員会でも全員協議会の場で結果の報告をされ、協議もされています。

(委員) 所感というようなものは、全員で回覧されるなりして、共有化されているのでしょうか。

(事務局) はい。共有されています。

(委員) 政務活動費は広報費など、いろいろな本人の価値観の中で使われている。生きたお金として使われている、ということを、それは肯定的に考えていかないといけないのでしょうか。

(委員) 確かにその分しっかりやらしてもらえばいいわけです。

(委員) 報酬をみると、江津市が低いけども期末手当は高く全体では、やはり益田市の議員は低いという状況ではある。

(委員) 政務活動費の結果がしっかりと目に見えていないから、いろいろと言われるところはある。それは今後に向けてもしっかりと期待をしたい。しかし議員報酬はそんなに極端に低い、というようなことでもない。子育て世代の方にとっては「安い」とか言われたようだが、4年の任期で、その間例え50万の支給があっても、場合によっては5年目は議員ではないこともある。その後においても、ずっと何らかの保障でもあるんならですけど、そうではない中で、子育て世代にとっては・・・、というのは理由にはならないではないのでしょうか。

(委員) 議員さんは、本来の仕事を持たずに「議員」だけされているんですか。見たところ本来の仕事もされていて、「議員」もされているんじゃないですか。それからすると報酬については、特に考えなくてもいいんじゃないですか。ただ活動費は10万円が12万円になったぐらいではどうか、ということはあるんですが、少しでも活動しやすいようにしてもいいんじゃないですか。

(委員) 反対意見としてですが、皆さん議員に立候補された時には、そういうことは知っていて立候補されている。ちゃんと目的を定めてしてもらわないと、やってみないと、行ってみないと分からんというのではどうでしょうか。財政が本当に大変で困るようなことは、議員さんも知っておられるんでしょうから。そもそも自分の仕事もあるんでしょう。

(委員) もっぱら議員のみ、という方もいらっしゃると思いますが、自分の覚悟で、情熱を持ってされている、そういう意味では、報酬が幾らでないと立候補できな

い、というのはどうかとは思いますが。これまでの論議の中で、議員報酬については、大変厳しい中であっては、今の程度で据え置いてはどうかと思いますが。一方で活動費については、市民に対して、どうやって執行部などと論議しながら物事を進めているのか、そういうことがなかなか見えていない、ということもいろいろな意見のとおりだと思います。

(委員) 政務活動費は実費というか、必要なものなら支出すべきです。ただ議員の皆さんが、視察などで感じ取られたことなんかみても、これはどうかというのもある。もっと実りある研修や調査研究をしていただければ良いんじゃないですか。

(委員) やはり「議員をやっ払いこう」と決意しているわけですから、「報酬が安い」という負の部分も理解したうえでのことでしょう。政務活動費もただ上げるのではなく、どれだけの成果を見せていただけるのか、ということが必要ですよ。そういう期待感はある。覚悟の上のことと、その上で、どうすべきなのかということですよ。

(委員) 報酬に対しては、他所より低いと言われますが、益田市の企業からすると高給取りに近いですよ。十分ではないでしょうが、それを考えるとどうでしょうか。ただ、政務活動費は実費として、実際はもっと使われているんですから、今の10万を倍の20万にしよう、というのではないですか。そこは認めておいて、この金額をどう有効に使っていくのか、ということをしかりとさせていただきたい、そのうえであれば上げてもいいのではないかと思います。

(委員) 議員報酬は比べてみてもそこまで低いとも言えないでしょう。政務活動費は皆さんが言うように、2万円上がってどうかな、とは思いますが、個人ではもっと使われているんだから、そこはいいんじゃないですか。

(委員) 昔は家、屋敷を売ってでも議員活動していた。30代、40代でも立候補して欲しいけども、「これでは生活ができないから、議員に出られない」なんてそんなのどうかね。基本的な考えがどうかと思いますよ。そもそも議員とは何ぞや、ということですよ。

(委員) 若い人に出てほしいですよ。若い人にもっと立候補して議会に出ていただくと思えば、そもそも議会を夜に開催すればいい。ただそうすると執行部側にいろんな制約が出てくる。

(委員) かつての議員は、確かに家、屋敷を売ってでもされていた。だからこそみんなにも尊敬されるような人だったんですよ。

(委員) 報酬額がどうだから、やるとか、やらない、じゃないですよ。「私は益田市のためにやります」ってみなさん立候補した時におっしゃっている。財政のこともよく理解された上で立候補しているんでしょう。ただ政務活動費については、十分に活動していただくためにもいいんじゃないでしょうか。

(委員) 是か、非か、という私としては、やはり報酬も政務活動費も、現状維持とすべきだ、と思っています。皆さんと違うかもしれませんが、活動費は2万円上げたからといってどうなるものでもないでしょう。皆さん自分の覚悟で出ておられるんでしょうし、身銭を切ってもすべき覚悟はないんですかね。議員の皆さんって、サラリーマンではないんですよ。

(委員) いろんな資料いただいて、わからなかったことも見えてきましたけど、それぞれの方の意見もあるでしょうが、これはどこまで議論するんでしょう。

(委員) 高いとか、安いとか、議員の質ややる気の問題などと言われてますが、その

議員を良くするのも悪くするのも我々なんですよ。民間企業の給料をみたうえで考えると、議員の報酬額はいいんですね。それと議員としての責任ですが、常に言いたい放題ではなくて、そこも明確に言いたいところです。その心構えがどうなんでしょうか。私としては、報酬も上げていきたいと思うけども、そういうことを考えると強くこだわるものではない。

(会 長) いろいろ意見がございましたけども、政務活動費の2万円については、大方の意見を踏まえて調整させていただきたいと思いますが、内容はもう少し意見をいただきたいと思います。また第4回目については、ある程度、意見を整理したものをお示し出来るのではないかと考えています。

(委 員) そのことを含めてですが、今日、各個人ごとに皆さん発言をされた。会長と事務局で相談されて、答申書の案を作成してください。それをいただけたらと思います。

(委 員) そうですね。次回開催して同じ議論の繰り返しになっても、と思います。

(会 長) 分かりました。出された意見を取りまとめて、言われましたように案を作成してみたいと思います。皆さんの意見を整理してみますと、まず議員の皆さんの報酬額は、現状のまま据え置きにしたい。次に政務活動費については、2万円引き上げる方向で調整出来ればと思います。そして特別職の減給については、そのあり方に一定の意見を付記したいと思います。そのうえで近い将来解消すべきではないかということもあります。特別職3役の給料そのものは、財政状況などを鑑みて、据え置きとする方向で答申書案を作成したいと思います。

(委 員) そうですね。事務局としてはどうですか。

(事務局) ご審議いただきまして、一定の方向性を出されていると思いますので、次回、4回目までに案を作成し、皆さんに「案」を事前に送付させていただきます。過去の審議会では、次回の審議会の前段で意見をいただいて訂正等を行い、内容がよろしければ、その後、市長に答申するというところをしていたところですが、このような進め方もありますが。

(委 員) 審議会の事前に案をいただくこととして、その進め方で対応してください。

(事務局) わかりました。それでは市長日程の確認が必要となりますので、調整させていただきます。

(事務局) 議会が終わると出張などが入ってきますので、市長日程が確保できるのは10月30日になります。

(会 長) もっと早くできないですか。

(事務局) 10月15日の午後。議会が終了した後なら日程が取れますが。

(会 長) そこをお願いします。

(事務局) では13時30分から、30分から1時間程度、答申書案を議論いただき、その後、市長に答申いただければと思います。

(委 員) よろしくをお願いします。

### 3 次回開催について

第4回審議会 平成27年10月15日(木)13時30分～ 本庁舎3階第1会議室